



国産クラウドでコスト削減を実現

具体的な事例でみる IDCFクラウド構成パターン集

～クラウドリフト&マルチインフラ編～

株式会社IDCFロンティア

事業推進本部

作成日：2023年6月28日

はじめに

円安、半導体不足、電力料金の高騰など、様々な社会問題に影響を受け企業のシステムとして対処すべき課題は増えています。一方で、このような先の読みづらい状況で、根本的に脅威に対処するためのシステム改修は大変困難です。

本資料は、IDCフロンティアのデータセンターやクラウドサービスなど、ユーザーが実際にサービスをご導入いただいた事例を元に、システムの構成例をご紹介します。

みなさまのシステム課題の解決のヒントになれば幸いです。

本書のテーマ

- ・クラウド化でコスト課題を解決
- ・マルチインフラ&クラウドリフトでイイトコどりを実現

こんな方におすすめ

- ・ITインフラ支出が増加し困っている
- ・オンプレミスからクラウドへの移行を検討中
- ・マルチインフラ環境の構築を検討中

Case

- A. オンプレ環境からの脱却！クラウドシフト
- B. 他社プライベートクラウドからのハイブリッド移行
- C. オンプレ環境からの完全クラウド移行
- D. 物理サーバーをハイスペックなクラウド環境へ集約

Case-A

オンプレ環境からの脱却！クラウドシフト

業種

Web広告

利用システム

広告・メディアマーケティングツール

背景・状況

- ・完全オンプレミス運用から、クラウドと合わせたハイブリッド構成を検討
- ・外資系クラウドと、既存データセンターでのハイブリッド構成も並行して検討



お客様の課題

- DC運用コストを削減したい
- 今後はクラウドも併用したい
- 外資クラウドはネットワークコストが高い

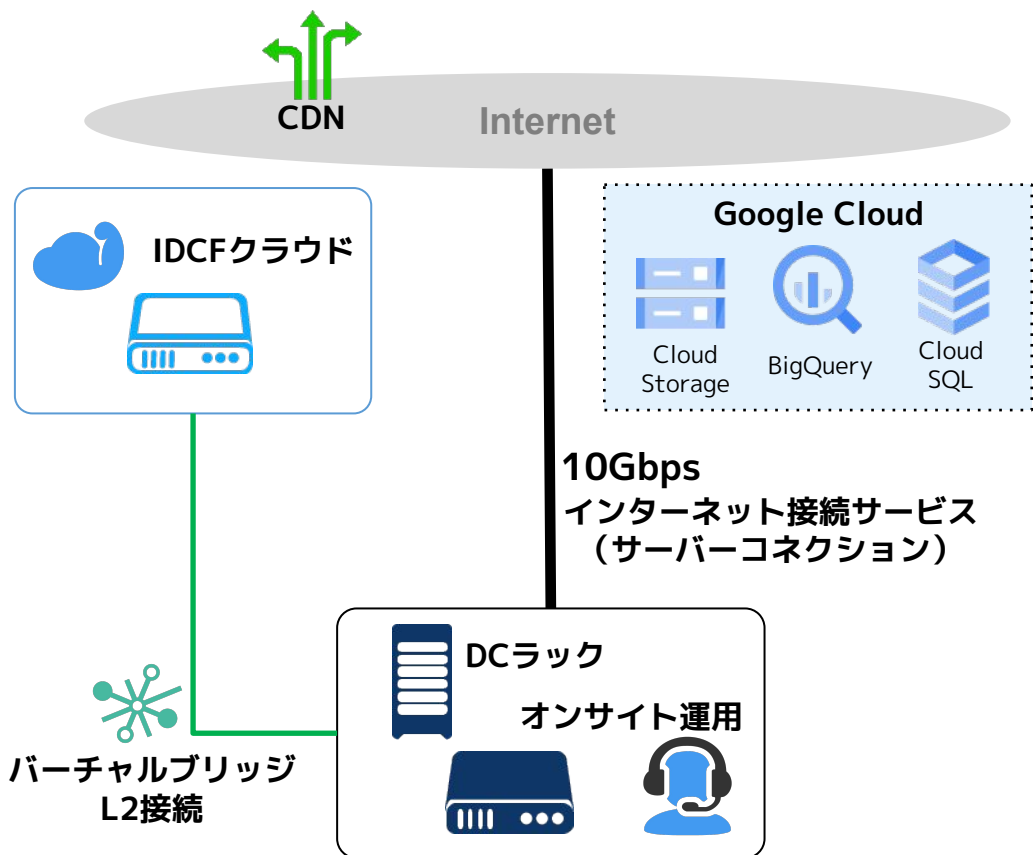


IDCフロンティアのご提案

- オンサイト運用によるDC運用コストの削減
- Google Cloudとのハイブリッド構成
- ネットワークと課金体系の見直し

導入効果

- DC運用の人件費削減。さらにクラウド併用により、従来の50%以上コスト削減を実現
- DC～クラウドの安価な閉域接続により、クラウド移行も進めやすい
- クラウド & DC & Google Cloud の請求が一括になり管理がしやすい



構成のポイント

- ①IDCFクラウドとDC間をL2接続。外資系クラウドの拠点間接続サービスを用いるよりも安価での提供が可能に
- ②クラウド化できないシステムをDCに設置しているため、DCから直接インターネットに接続させる
- ③パートナーサービス（Google Cloud）で、請求をIDCFフロントティアにて一括管理

IDCFフロントティア利用サービス

- ・ IDCFクラウド
 - コンピュート
 - CDN
- ・ バーチャルブリッジ（L2接続）
- ・ インターネット接続サービス
- ・ データセンター
 - ハウジング（ラック）
 - オンサイト運用
- ・ パートナーサービス：Google Cloud

Case-B

他社プライベートクラウドからの ハイブリッド移行

業種

ソフトウェア/ゲーム

利用システム

ゲーム、サービス基盤

背景・状況

- ・ 他社マネージドネットワーク機器、プライベートクラウド環境を利用中
- ・ インフラコストを抑える手段を検討



お客様の課題

- ネットワーク設定等をすぐに変更できない
- 仮想マシンOSが古く、セキュリティ不安
- インフラコストを削減したい



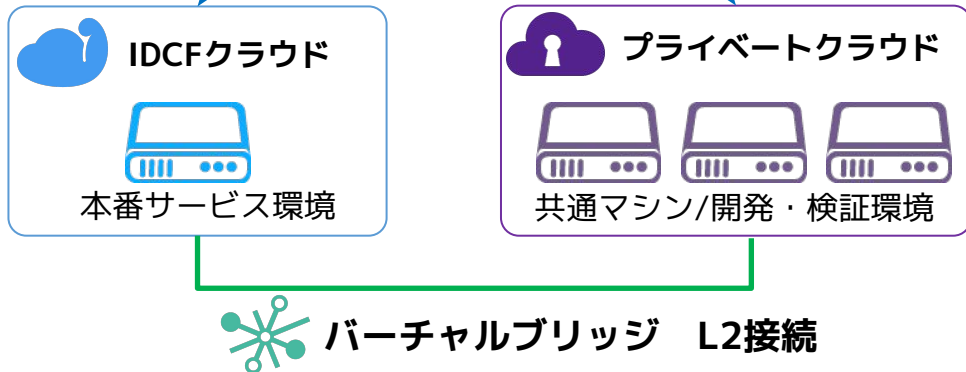
IDCフロンティアのご提案

- 細かく設定できるユーザー権限
- 最新OSでセキュリティ対策
- ハイブリッド構成によるコスト最適化

導入効果

- 作業について都度申請する必要がなくなり、すぐ作業実施可能に
- 最新OS、パッチの適用でセキュリティリスクの低減、設計の簡素化
- 15%~20%のコスト削減を達成！

リソース再配置



構成のポイント

- ①IDCFクラウドとプライベートクラウドのハイブリッド構成
- ②IDCFクラウド、プライベートクラウドをリソース変動に応じて活用することで、コストを抑えた柔軟なインフラ環境を構築

IDCフロンティア利用サービス

- ・ IDCFクラウド
 - コンピュート
- ・ プライベートクラウド
- ・ バーチャルブリッジ (L2接続)

Case-C

オンプレ環境からの完全クラウド移行

業種

ソフトウェア/ゲーム

利用システム

ゲーム

背景・状況

- ・ 他社データセンターでの完全オンプレミス運用およびコスト負担を減らしたい
- ・ 現状のサポート体制に不満 → クラウドへの移行を検討



お客様の課題

- オンプレミス運用負荷を減らしたい
- PaaSはアプリ改修のコストが割高
- トラブル時に相談できない



IDCフロンティアのご提案

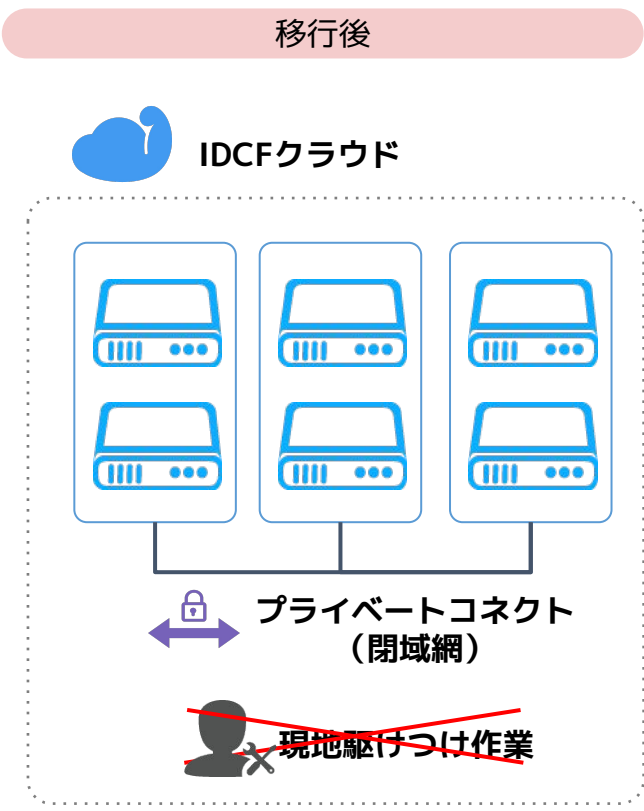
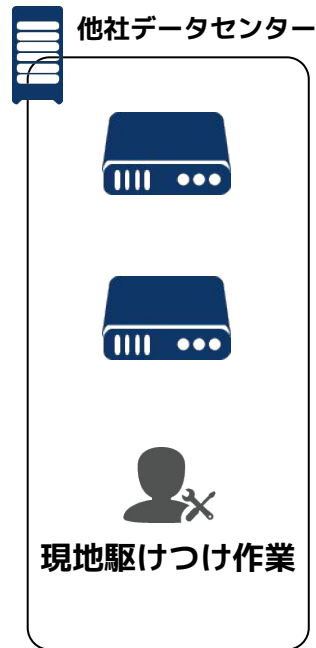
- ハードウェア保守作業不要
- 使い勝手のよいIaaS (IDCFクラウド)
- トラブル時も手厚くサポート

導入効果

- ハードウェア保守、維持管理工数を削減 → インフラ全体コストを低減
- マシンイメージをそのままクラウドへインポート。PaaSの制限を気にせず利用可能に
- 障害発生時のみならず、各種相談を営業・エンジニアに気軽にできるようになり、安心！

移行前

移行後



構成のポイント

- ① オンプレミス環境上のシステムを全てIDCFクラウドに移行し、現地での作業・運用の手間およびコストを削減
- ② クラウド移行により、ハードウェア故障によるサービス停止リスクを回避
- ③ ゲームタイトルごとにアカウントを分割、バックエンドは閉域で接続し一元的な監視を実施

IDCFフロンティア利用サービス

- ・ IDCFクラウド
- コンピュート
- ・ プライベートコネクト

Case-D

物理サーバーをハイスペックなクラウド環境へ 集約

業種

サービス

利用システム

配信（動画、画像）

背景・状況

- ・ 他社マネージドネットワーク機器、プライベートクラウド環境を利用中
- ・ サービス基盤の全体コストを抑える手段を検討



お客様の課題

- レンタル機器の利用料、リプレース費用を抑えたい
- サービス基盤の拡張に時間がかかる
- サービス基盤の全体コストを抑えたい

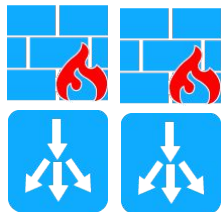


IDCフロンティアのご提案

- クラウド集約により機器リプレース費用を削減
- IDCクラウドにより柔軟な拡張が可能
- ホスト集約によるコスト削減

導入効果

- ネットワーク機器と物理サーバーを集約することで、運用工数や費用を削減
- IDCクラウド活用によりサービス基盤増強、拡張にかかっていた時間を短縮
- ハイスペックなプライベートクラウドへ集約することで現対比30%のコスト削減を実現



マネージドファイアウォール
マネージドロードバランサー

バーチャルブリッジ



ESXiホスト



プライベートクラウド
TypeV2020



IDCクラウド

構成のポイント

- ①物理サーバー（約20台）をハイスペックなプライベートクラウド（3台）に集約
- ②ネットワーク機器を集約（約15台→4台）し、物理サーバーをクラウド化することでコスト削減に

IDCフロンティア利用サービス

- ・IDCFクラウド
 - コンピュート
- ・プライベートクラウド TypeV 2020
- ・バーチャルブリッジ（L2接続）
- ・マネージドファイアウォール
- ・マネージドロードバランシング

IDCフロンティアについて

IDCフロンティア サービスラインアップ

クラウド



IDCF Cloud

コンピュー
インフィニットLB
RDB
クラウドストレージ



CDN



コンテナ



プライベートクラウド



ベアメタルサーバー

データセンター



コロケーション（ハウジング）
オンサイト運用アウトソーシング
監視・運用パッケージ
サーバー基礎構築サービス
データ消去サービス

セキュリティ・運用サポート

不正侵入検知/防御サービス（IDS/IPS）
ITインフラ調査・アセスメントサービス

ネットワーク



バーチャルブリッジ（L2接続）
レインターコネクト：メガクラウド
インターネット接続サービス
マネージドファイアウォール
マネージドロードバランシング
プライベートコネクト

パートナーサービス

Google Cloud

データセンターからクラウドまで全て自社で運用
各レイヤーを相互連携させる他社にはない強み

現状と同様の構成でIDCFクラウドに移行した場合の見積りがほしい

オンプレミス環境からクラウドへの移行した場合のメリット・デメリットを教えてください

どのサービスを選択、組み合わせればいいのか分からないので、自社システムに最適な構成を提案してほしい

具体的な案件は無いが、今後の運用について相談に乗ってほしい

まずは、お客さまの
現状と課題をお聞かせください。
貴社に最適なお提案をご用意
いたします。

お問い合わせフォーム

<https://www.idcf.jp/cloud/contact.html>

